

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 92 (当初計画 : No. 87)

東北森林管理局

取組名	間伐材の需要拡大の推進 (継続)
流域名	雄物川流域 (秋田)
分類番号	イ-15、カ-22、カ-23、カ-24
実施箇所及び実施日	秋田森林管理署管内 平成 25 年 5 月～11 月
取組の背景及び必要性	伐採系森林整備の拡充と、これまでの未利用材 (未搬出物件) の生産量への取り入れに伴い、木質バイオマスへの利用推進に資するとともに、需要開発、販路の拡大など積極的な対応が必要である。
取組の内容	<p>【これまでの取り組み】 伐採系森林整備の実施及び安定供給システム販売の推進</p> <p>【平成 25 年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の事業発注見通しを公表 (HP) して、木材の安定供給に向け伐採系森林整備を 5 月～11 月に実施した。なお、低質材の搬出を積極的に行い、販売委託契約者と情報を共有しながら需要先の拡大を図り、国有林材の安定供給を推進した。 ・安定供給システム販売を推進する中で、3 m 材 (一般材) の供給について取組を強化し、販路拡大に努めた。 ・木質バイオマスの利用推進に資する取り組みとして、D 材を含めた未利用間伐材を現地においてチップ生産を行う「先進的 林業機械緊急実証・普及事業 (木質バイオマス集荷システム)」実施にあたり、国有林のフィールドを活用して実施した。
国有林担当部局・役割	資源活用課・秋田森林管理署 (業務グループ、森林技術指導官) ・森林整備の実行、木質バイオマス情報の収集
連携協働相手先・役割	販売委託契約先 ・販路の拡大及び用途について情報収集
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・低質材の生産、販売を推進することが出来た。 ・国有林材の木質バイオマスへの利用推進の PR が出来た。 ・低質材の利用 (チップ) に当たっての含水率の軽減 (乾燥)。
PR の実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの掲載 ・国有林の事業実施予定の周知で、事業者の実施計画が見通せて雇用促進にも繋がる。

【参考資料】

取 組 名 間伐材の需要拡大の推進（継続）



低質材の層積検知の実績換算率調査



安定供給システム販売の山元巻立



移動式高性能木材破砕機



破砕しながらトラックへ積込



改良型グラップル（ギザギザ脱着可）



幅 51 × 145cm:30 ~ 40cm 丸太破砕可

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 93 (当初計画 : No. 88)

東北森林管理局

取組名	民国連携集約化施業モデル団地の事業実施 (継続)
流域名	雄物川流域 (秋田)
分類番号	ア-11、イ-15、ウ-16、オ-20、カ-24
実施箇所及び実施日	秋田県仙北市西木村小湊野字小白川山国有林 1110 林班外 平成 25 年 11 月 21 日 (木)
取組の背景及び必要性	民国の連携による森林整備の推進のため、平成 22 年度において締結した集約化施業モデル団地において、各種研修、現地検討会、低質材の搬出を実施することにより今後の集約化施業プランの策定に資する。
取組の内容	<p>【これまでの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度別事業実施計画に基づき、間伐調査、伐採搬出 (民有林) を実施。 ・集約化施業モデル団地を活用した現地検討会の開催。 <p>【平成 25 年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、県、地方自治体、森林組合等関係者が一堂に会して、施業団地の核となる森林作業道の線形等について研修会を実施した。また、モデル団地の取組について報告するとともに、効果的な作業システムについての座学の研修会も実施した。
国有林担当部局・役割	資源活用課・計画課 秋田森林管理署 (業務グループ、森林技術指導官) ・間伐の実施、工程調査等の実施 (2 月)、現地研修会の開催
連携協働相手先・役割	雄物川流域林業活性化センター (仙北地域振興局・仙北東森林組合・小白川地区森林所有者・小白川分収造林組合) ・立木調査、立木伐採、工程調査等の実施、現地研修会の開催
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・森林作業道の線形について、現地で協議しながらルートを検証し、更に路線計画のポイントや作業現地内外の情報を加味した線形とすることの理解を深めることが出来た。 ・間伐のコスト等の調査を行うとともに、民国連携の効果を事業終了時に検証し、検討会を開催し今後の取組に反映させる。
PR の実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・署のホームページに研修会等の実施状況を掲載。 ・雄物川流域の森林・林業の関係機関が民国連携による集約化施業に取り組んでいることを広く PR できる。

【参考資料】

取組名 小白川地域集約化施業モデル団地現地研修会



現地研修会（署長あいさつ）



民国連携の作業道線形の説明



民有林間伐実施箇所の説明



民有林間伐実施箇所の説明



室内での報告会（取組の説明）



局担当官による講義

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 94 (当初計画 : No. 89)

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れ等森林病虫害防除の強化 (継続)
流域名	雄物川流域 (秋田)
分類番号	カ-29
実施箇所及び実施日	秋田市外 平成 25 年 7 月～8 月
取組の背景及び必要性	ナラ枯れ被害が拡大している中で、早期発見、早期駆除による拡散防止に努めることが必要不可欠であり、地域との連携により情報の共有化を図り、民国一体的な対策を講じる必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林病虫害の早期発見のため林木遺伝資源保存林「田沢湖コナラ」を含むナラ林を森林官・署内職員によるパトロールの実施。 ・森林病虫害防除対策連絡調整会議に出席し県内の被害状況について情報交換を行った。 <p>【平成 25 年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・署、森林事務所によりナラ林の分布状況を把握して効率的なパトロールを実施。(7 月～9 月) ・雄物川流域活性化センター総会等に出席して県内の被害状況について情報を得ている。
国有林担当部局・役割	技術普及課・秋田森林管理署 (業務グループ、森林技術指導官・森林官) ・巡視、保護林保全保護対策
連携協働相手先・役割	・雄物川流域林業活性化センター (秋田県・各市町村・森林組合等) ・情報の共有化
取組の結果、反響、今後の課題等	・当署管内では、ナラ枯れ被害の発生はないが、隣接した国有林及び民有林の情報を収集して、被害状況等の情報を共有し、被害が発生した場合迅速な対応を行う。
PR の実施状況及びその期待する効果	・民国一体となった被害防止に対する意識の高揚

【参考資料】

取組名 ナラ枯れ等森林病虫害防除の強化(継続)

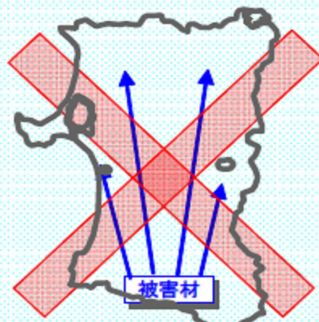
ナラ枯れ被害材の移動・活用に関するガイドライン

秋田県

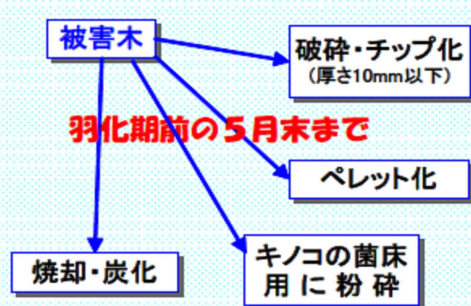
被害を拡大させないための“5つのルール”

I 移動・活用のルール

(ルール1) 被害材はむやみに移動させないこと



(ルール2) 被害材の移動・処理は9月～翌年5月末までに行うこと



(ルール3) 遅滞ない被害材の通知

- ① 被害材の販売や譲渡にあつては、「被害材が含まれているため、適正な処理が必要」であると、相手に対し通知すること
② 通知書は別紙(裏面)のとおり

ナラ枯れ被害材移動・処理期限通知書

平成 年 月 日

様

住所 名称 (〒 - -) 印

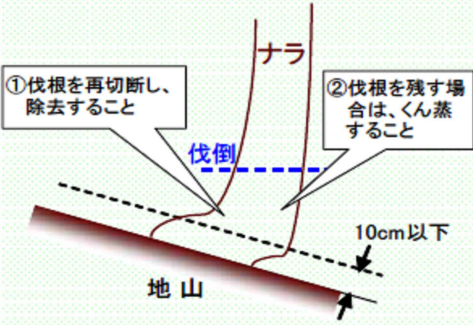
この木材には、ナラ枯れ被害材が含まれていますので、ナラ枯れ被害材ガイドラインに基づき、次のとおりお知らせします。

記

- 1 被害材の出所 市町村 地内
2 処理期限 平成 年5月31日まで(カシノガキイムシの羽化期前)
3 ナラ枯れ被害材が混入しています。
・適正な処理を行わないと、この木材を保管している地域でナラ枯れ被害が発生し拡大する恐れがあります。
・上記の処理期限までに、焼却、製炭、破碎・粉碎(厚さ10mm以下)のいずれかの処理を行ってください。
4 その他
・処理せず、この木材を譲渡する場合は、本通知書及びガイドラインの写しを譲渡先に渡し、確実な処理を依頼してください。

II 伐採のルール

(ルール4) 被害木の伐倒にあつては、伐倒後、伐根が地際から10cm以下とすること



(ルール5) 被害拡大期間内(6月～8月)の伐採は行わないこと

- ① 被害拡大期間内の伐採は、周辺に被害を広げる恐れがあるため、未被害木についても伐採しないこと
② ナラ類を主体とする1ha以上の森林の皆伐は、カシノガキイムシを誘引し周辺森林へ被害を拡大する恐れがあるため注意すること

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 95 (当初計画 : No. 90)

東北森林管理局

取組名	「レク森」仁別自然休養林のリフレッシュ対策 (継続)
流域名	雄物川流域 (秋田)
分類番号	カー 27、カー 31
実施箇所及び実施日	秋田森林管理署 務沢国有林 5月10日、7月26日、10月26日、10月31日
取組の背景及び必要性	平成17年にリーディングプロジェクト実施箇所として、仁別自然休養林が指定され、これまでも周辺整備を実施し、平成21年度においては「レク森の個別方針」の見直しをしたところである。周辺整備等の充実を一般市民、関係機関等から求められていることから、引き続き対策を講じていく必要がある。
取組の内容	<p>【これまでの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等によるかん木園の整備、樹木名標柱の設置等。 ・仁別自然休養林保護管理協議会、仁別森林博物館ボランティア案内人による森林教室の開催。 ・豪雨により被災した遊歩道の整備。 <p>【平成25年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを活用した仁別自然休養林の整備。(5月・11月) ・下流の関係機関及びボランティア団体との連携による森林教室等の開催などフィールドを活用した森林環境教育活動を実施した。(7月：親子森林教室、10月：三者協定活動) ・仁別森林博物館のイベント・森林鉄道企画展などの情報についてホームページを活用して一般市民へのPR活動を行った。
国有林担当部局・役割	技術普及課、保全課、秋田森林管理署 ・仁別自然休養林・仁別森林博物館のPRを実施。 ・森林教室、森林整備を企画実行。
連携協働相手先・役割	秋田市役所、仁別自然休養林保護管理協議会、仁別森林博物館ボランティア案内人会、アサヒビール、太平山リゾート公園 ・連携により森林教室、森林整備を実施しPRを行う。
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・森林教室等の開催、仁別自然休養林・森林博物館のPRとフィールドの提供。 ・森林博物館の入館者数が減少傾向にあるので対策が必要。
PRの実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、広報誌、マスコミ、ガイド雑誌等 ・森林浴、森林環境教育等により一般市民の森林・林業、国有林に対する理解が得られる。

【参考資料】

取組名	「レク森」仁別自然休養林のリフレッシュ対策（継続）
-----	---------------------------

○ かん木園の冬囲い、歩道整備（10月31日）



○ 親子森林教室 仁別文化年スギ人工林を見学（7月26日）



○ 三者協定活動 木道に滑り止め板を設置（10月26日）



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 96 (当初計画 : No 91)

東北森林管理局

取組名	市町村森林整備計画策定に向けた支援 (新規)
流域名	雄物川流域 (秋田)
分類番号	ウー 16、エー 18
実施箇所及び実施日	仙北地域振興局会議室 フォレスター事務局会議 平成 26 年 1 月 30 日 仙北地域振興局会議室 研修会・意見交換 平成 26 年 2 月 26 日
取組の背景及び必要性	平成 26 年度に策定(本編成)される市町村の森林整備計画をより実効性の高い計画とするため、民有林・国有林情報を把握し支援することで「森林・林業再生プラン」の推進に資する必要がある。
取組の内容	<p>【平成 25 年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄物川流域の各市町村に住民懇談会の案内を持参し、国有林の情報提供を行った。(平成 25 年 8 月 26～27 日) ・雄物川流域国有林の森林計画について、各市町村の担当者の出席を得て「住民懇談会」を開催し、国有林の取組について周知した。 ・雄物川流域内の各市町村の森林整備計画樹立に向けて、予備編成時から雄物川フォレスターチームと連携をし、地域性の打ち出し及びゾーニングの見直しの検討など計画策定への支援を行っていく。(2 月 26 日に研修会を予定)
国有林担当部局・役割	<p>計画課・技術普及課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連情報等の提供 <p>秋田森林管理署 (業務グループ、森林技術指導官・森林官)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村森林整備計画の策定支援、国有林情報の提供。
連携協働相手先・役割	<p>秋田地域振興局、仙北地域振興局、秋田市、大仙市、仙北市、美郷町、雄物川フォレスターチーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村森林整備計画の策定準備。
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村の林業担当者と情報交換を出来る体制が整った。 ・初めて林業関係の職務についての担当者もおり、国有林のことも知りたいと研修会等に積極的に参加して頂いた。 ・民国連携の森林共同施業団地の推進 (高能率生産団等) を市町村森林整備計画に反映する。
PR の実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民懇談会等で市町村森林整備計画の支援を PR した。 ・雄物川フォレスターチームによる市町村森林整備計画への支援、情報提供等。

【参考資料】

取 組 名	市町村森林整備計画策定に向けた支援
-------	-------------------

雄物川流域フォレスターチーム事務局会議

開催場所：仙北地域振興局第3会議室

開催日時：平成26年1月30日(木) 平成26年2月25日(火)

・「次期の市町村森林整備計画の作成に向けての研修会」及び「雄物川流域の森林・林業・木材産業関係者による意見交換会」の実施内容について検討。



雄物川流域フォレスターチーム活動

開催場所：仙北地域振興局大会議室

開催日時：平成26年2月26日(水)

・「次期の市町村森林整備計画の作成に向けての研修会」の実施状況。



・「雄物川流域の森林・林業・木材産業関係者による意見交換会」の実施状況。

